第３回伊勢原市歴史文化基本構想策定委員会　会議録

１．開催日時

平成２７年１０月２日（金）午後３時～午後５時

２．開催場所

中央公民館３階・会議室Ｂ

３．出席した委員

鈴木良明(委員長)、谷川雅一(副委員長)、川島敏郎、佐藤健、目黒仁、菅谷裕子、齋藤慎、鈴木あつ子、鍛冶栄一、櫻井勇

４．出席したオブザーバー

安藤隆幸（伊勢原市・商工観光振興課長）、

石原孝造（神奈川県・文化遺産課・主事）

５．事務局

鈴木教之（教育長）、山口譲（歴史文化推進担当部長）、立花実（文化財課長）

６．会議書記

酒川崇生（文化財課主事）

７．公開可否

公開

８．傍聴者数

０人

《審議の経過》

午後３時開会

１．あいさつ

２．議題

（１）伊勢原市歴史文化基本構想の策定について

①歴史文化基本構想に対する意見とその反映［資料１、資料２］

②「歴史文化基本構想」策定スケジュール［資料３］

［委　員］１ページの文化財保護条例の「全部改正」という文言が気にかかった。文言を修正するかどうかは任せるが。

［事務局］全部改正という文言は行政用語。分かりやすく文言を修正する。

［委　員］この委員会の役割は、日本遺産申請までなのか。

［事務局］この委員会の役割は本日までとなる。その後は事務局に委任していただく形になる。

［委員長］日本遺産に落選した場合、歴史文化基本構想はどういう位置づけになるのか。
［事務局］この構想自体が市の意思決定。ないがしろにはしない。

（２）「日本遺産」登録に向けて
①「日本遺産」申請に向けた文化庁との調整状況
②「日本遺産」登録に向けた作業スケジュール［資料３］
③「日本遺産」登録後の地域活性化に向けて［資料６］

［委　員］大山“まいり”の文言について「参り」と「詣り」の文言について統一することはできないか。
［事務局］「詣り」に統一する予定。文化財サイトの文言を使用したが、表記が揺らいでいた。
［委　員］登録後、なにをやるのかというところを文化庁は知りたいと思う。
「平成大山講 PJ」で県から補助金を受けているが、補助金を有効活用される施策を考えていければいいと思う。
［委　員］小田急・神奈中グループで大山についてＰＲをしてきたが、近隣市の方でも知らない人が多い。まずは神奈川県の人に知ってもらってからだと思う。

３．その他

午後５時閉会

［配付資料］
資料１：伊勢原市歴史文化基本構想（案）
資料２：伊勢原市歴史文化基本構想（たたき台）に対する意見とその反映・新旧対照表
資料３：「歴史文化基本構想」策定・「日本遺産」登録に向けた作業スケジュール
資料６：「日本遺産」登録後の地域活性化戦略